

おもい
想いの
未来を
描こう

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター・弘前市立中央公民館
弘前大学との地域づくり連携事業

地域未来創生塾 @中央公民館

参加
無料


お申込み不要

日程: **令和5年10月11日(水)**から**令和5年12月13日(水)**の期間の
原則**第2**および**第4水曜日**(全5回)

時間: **18:30~20:00** 対象: **弘前市**および**近隣にお住まいの高校生・一般の方**

場所: **弘前文化センター 第6会議室**(弘前市下白銀町19-4)および**Web開催**

※会場での参加の際はマスクの着用をお願いします。また、当日体調の優れない方は、ご無理をされないようにお願いします。

 **zoom** [ミーティングID] **629 223 5980** [パスワード] **393198**

QRコード
での参加は
こちら▶ 

※全5回のうち4回以上ご参加の方には修了証を授与します。最新情報については、チラシ配布および地域未来創生センターホームページに掲載します。
主催:弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 共催:弘前市教育委員会(中央公民館) 後援:弘前市・東奥日報社・陸奥新報社

お問合せ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター ☎0172-39-3198

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <https://human.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

「地域未来創生塾@中央公民館」

目的

「持続的で豊かな地域創造」をテーマに全5回の講座を開催いたします。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策・地域の防災・減災などを模索するために、地域のみなさまと弘前大学人文社会科学部の教員が、講義形式で学びを深めます。関心のあるテーマのみのご参加も大歓迎です。



年間計画

第1回 10月11日(水)

歴史的に見た弘前と
対馬のつながり

講師: 人文社会科学部助教 古川 祐貴(専門: 日本近世史)

内容: 弘前藩主菩提寺の長勝寺に対馬藩士の墓があります。直線距離で1,000キロを隔てた対馬藩士の墓が何故弘前にあるのか。そしてそれは何故藩主菩提寺に作られたのか。その謎に迫る中で、弘前と対馬とのつながりを明らかにします。

第2回 10月25日(水)

農家の経験値から学ぶ
-短角牛の「よい母ウシ」
とは?-

講師: 人文社会科学部助教 泉 直亮(専門: 生態人類学、地域研究)

内容: 岩手県や青森県では短角牛という珍しい和牛が飼われています。北上山地でのフィールドワークから、短角牛農家は「よい母ウシ」について品種改良政策とはちがう独自の基準をもっていることが分かりました。ここでは、こうしたちがいに注目して、地域の現場に目を向ける大切さについて考えます。

第3回 11月 8日(水)

人口と経済の関係:
人口減と人口流出
どちらがより問題か?

講師: 人文社会科学部助教 安中 進(専門: 日本経済史)

内容: 人口増加は、経済成長にとってプラスにもマイナスにもなり得ると指摘されてきました。しかし、地方において、人口減少は経済にとってマイナスだと思われていません。なぜでしょうか。また、仮に出生数が増えても、生まれた人々がそのまま首都圏などの都市部に流出しては、地方にとってプラスにはなりません。どうしたら良いのでしょうか。本講義では、このような地方が抱える複雑な人口問題を考えます。

第4回 11月22日(水)

りんご新品種の食味
評価および今後の普及
方法について

講師: 人文社会科学部教授 黄 孝春(専門: 経営学、農業経済)

内容: 国内外のりんご新品種の評価を行い、農産物知財マネジメントの視点から新品種の生産流通における新しい仕組みを解説します。

第5回 12月13日(水)

「小説」って何だろう
~太宰治を読む~

講師: 人文社会科学部助教 片岡 美有季(専門: 日本近現代文学)

内容: 太宰治はかつて「青春のはしか」とも呼ばれ、今も多くの若者に読まれています。しかし、そもそも「小説」とは何なのでしょう。太宰は「千代女」(1941年)という作品の中でそれを問っています。日本近代文学が自明のものとしてきた「小説」とは何か。「千代女」を読み解くことを通して、それを考えたいと思います。



お問い合わせ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 TEL 0172-39-3198

E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <https://human.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>